

書籍名	著者等	出版社等
認知症とは何か	小澤勲(著)	岩波新書
認知症と診断されたあなたへ	小澤勲(著)黒川由紀子(著)	医学書院
物語としての痴呆ケア	小澤勲(著)土本亜理子(著)	三輪書店
私の声が聞こえますか ～認知症がある人とのコミュニケーションの可能性を探る～	マルコム・ゴールドスミス(著) 寺田真理子(翻訳)	雲母書房
認知症の介護のために知っておきたい大切なこと パーソンセンタードケア入門	トム・キッドウッド(著)キャスリーン・ ブレディン(著)寺田真理子(翻訳)	プリコラージュ

※「日本認知症本人ワーキングお勧めの本(平成30年5月現在)」より抜粋

14 ご家族の方へ

私のおすすめの本

認知星人じーじ
「楽しむ介護」実践日誌
黒川玲子(著) 海竜社

医師からのメッセージ

ご本人が忘れる事、できない事があると、ご家族はつい声を荒げてしまうかもしれません。しかし、思う様にできない事で一番辛いのは本人です。忘れた事を無理に覚え込まされたり、できない事を学習させられる事はとても苦痛です。そして家にいるのが嫌になり、出ていく、暴力や大声を出すなどの行動につながります。対応方法は個々で違います。困ったら医師、看護師、介護士に相談してください。

- 本人の話を聞き、間違いがあっても否定しないで受け入れましょう。
- 本人のできない事は学習させず、よほど困らない限り本人にやってもらいましょう。できない時には一緒に手伝いましょう。
- うまくできた時は、褒めましょう。褒められると、脳内にホルモン(ドーパミン)が出て、認知症の進行を予防します。

本人の行動、訴え

「誰かが家に入ってきた。
泥棒だ」

食事や薬も飲んだ後「食事
ちょうだい、薬ちょうだい」

失禁や不潔行動

腹を立てて攻撃的

家族の対応

本人を別室に避難後「追っ払っておく
からね。今逃げていったよ。」

食べ残しのお皿を見せる、薬の空き袋を
見せる。

叱責は逆効果。生活リズムを見てトイレに
誘導したり、それとなく着替えを誘導する。

平静を保ち上手に話題を変えて注意を
別にそらす。一定時間待つ。

◎同じ立場で、ともに考え、支え合える仲間がいます

認知症家族介護者交流会のご案内

※開催日等はお問い合わせください。

グループ名	開催場所	問合せ・申込み先
なごみ会	総合福祉センターあいトピア	豊橋市中央地域包括支援センター ☎54-7170
つつじ会	つつじが丘地域福祉センター	豊橋市東部地域包括支援センター ☎64-6666
ほいっぷ会	ほいっぷ(保健所・保健センター)	豊橋市南部地域包括支援センター ☎25-7100
三河ブロック「わの会」	豊橋商工会議所	(公社)認知症の人と家族の会 愛知県支部 ☎0562-33-7048